

問

お年寄り見守り支援の認識と引継ぎは

町長

ステップアップ、新町長に求める

問高齢化の進行で認知症や介護への身近な対策と体制整備が必要ではないか。

町長 域のつながりや活動の場を創り支援体制の強化に努める。

問認知症など支援を必要とする高齢者の増加は避けられない。

問地域のお年寄りを見守り支援する町ぐるみの運動が必要。町、町内会・実践会、ボランティアが連携し、地域に多少の濃淡が出てもいいから、行政が呼びかけを始めないか。新町政に必要性を積極的に引継ぎしてほしい。

包括支援センターを中心に在宅介護や施設介護、訪問介護、配食や訪問などの各種サービスの支援充実に取り組んでいる。

今後とも予防活動と地

町長 お年寄りが安心の町づくりは私も望むところだ。見守り支援はステップアップが必要、新町長に拡充を求める。

問災害を防ぎ生産基盤

支える農地排水溝の維持管理では事業や機械力が不十分ではないか。

町長 小河川や排水溝の土砂上げは保全会事業と直営とで実施する。今後は昭和50年代に整備した側溝などの修繕箇所が増加し、予算増額も検討したい。

今後、全ての公共施設の個別施設計画を作成し公表する。

問畑周辺の排水溝が土砂堆積で流れにくい現場が山積している。

これらがまた災害を招くので保全会や直営の予算を増やし、機械力不足にも取り組むべきではないか。

町長 町の直営事業としての対応が足りないという指摘かと思う。土木直営の予算もあり保全会との連携を図る。機械力は不足ぎみで、国・道との連携などを続けたい。

問大型施設の維持管理やコスト、利用推計の心配にどう応えるか。

町長 大型施設建設では、施設利用や管理経費などの情報提供をしてきた。今後、全ての公共施設の個別施設計画を作成し公表する。

問広聴活動の種類はあるが、町民意見を直接聞き、反映したものは少ないのでは。

町長 就任以来、夜間町

長室、車座トークなどを実施、私ほど町民の声を聞く町長はいない。高齢者ハイヤー利用、保育料減額など施策に反映したものも多い。

町長 直接、間接的に移住定住に結びついた事業もある。空き家活用定住補助金、移住相談窓口開設、新規就業支援、店舗出店支援事業などのほか、子育て環境の充実が移住につながった事例がある。第6次町総合計画でも重点的に移住定住に取り組んでいきたい。



思いやりあふれるまちづくりを

やまだひでお
山田日出夫 議員

春到来
町づくりも
新しい芽吹きを期待

